

名取市立愛島小学校屋内運動場屋根改修工事

仕 様 書

宮 城 県 名 取 市

1. 工事名称

名取市立愛島小学校屋内運動場屋根改修工事

2. 工事場所

名取市愛島笠島字東蔵神34

3. 工事範囲及び工事概要

本工事の施工範囲は、本仕様書及び設計図において示す範囲

4. 別途工事

なし

5. 特記事項

- (1) 工事場所が小学校内であるため、安全対策等については万全を期すこと。
- (2) 学校行事等を十分に把握、調整し工事を進めること。
- (3) 工事に伴う電気・水道は無償支給とする。
- (4) 図面内記載の駐車場借用については仮の記載であり、工事契約後に学校と協議の上決定とする。
- (5) 工事期間中、同敷地内にて「第4号 名取市立愛島小学校ほか2校照明LED化改修工事」が行われるため、必要に応じ調整し、施工すること。
- (6) 渡り廊下屋根については、学校運営に支障のない期間(長期休業期間等)に実施すること。

6. 工事期間

契約締結の翌日 から 令和9年3月12日(金) まで

7. 入札日時・入札条件・契約条件・設計費に関する質問等

『入札公告』による。

8. 設計図書

本仕様書	1式
設計図	1部(13枚)
入札公告	1式

9. 設計図書の優先順位

設計図書の優先順位は、原則として次のとおりとする。

- 第1位 『入札公告』及び質問回答書
- 第2位 仕様書
- 第3位 設計図
- 第4位 共通仕様書(当該年度における最新版)

国土交通大臣官房官庁営繕部監修「標準仕様書」、「工事監理指針」
第5位 公共規格及びこれに準ずる規格

10. 設計図書等に関する質問等

『入札公告』による。

11. 工事計画及び施工図

施工計画書・各種使用機器承諾願は事前に提出し、監督員の承認を得た後に施工すること。

12. 官公署への手続き

工事の施工に必要な官公署・その他への手続き・届出等は速やかに行い、それに伴う費用は全て請負者の負担とする。

13. 設計変更等

仕様書・設計図等に食い違いがあった場合は、速やかに監督員に報告、協議すること。

14. 工事の安全対策

(1) 工事にあたり児童・生徒及び教職員ならび来客等の第三者に十分配慮すること。工事用部材の搬出入についても経路を定め安全には十分努めること。

万一損傷を与えた場合は、請負者の責任と金銭負担において速やかに補償、または原形復旧すること。

(2) 請負業者は労災・火災その他の賠償責任保険等に参加することとし、写しを市へ提出すること。

(3) 工事に伴う振動・騒音については学校側と事前に十分調整すること。

(4) 工事の安全対策、車両進入経路等他についても十分注意すること。

15. 検査

(1) 完成検査は、自社において所定の検査を完了した後、名取市の完成検査を受けるものとする。

(2) 工事完了後に、名取市が何らかの理由で検査・試験・測定等を行う場合、会計検査を受ける場合等において請負業者はこれに協力すること。

16. 工事現場における注意事項

(1) 事前調査

工事に先立ち施設等の事前調査を密に行い、後日問題が生じないよう配慮すること。

また、配管配線等の位置、構造、を調査確認し支障のあるものについては、保安・維持に努めること。なお、これに要する費用は本工事に含むものとする。

(2) 苦情等の処理

工事による苦情・建物の損傷・その他の問題が生じた場合は、全て請負者の責任におい

て補償すること。

(3) 労働者への安全対策

労働者への労働災害防止と安全衛生を図るため、労働者の安全への意識向上に努めること。

(4) 本工事請負者は、地元名取市内から下請負者等の採用について十分配慮すること。

なお、下請負者等は市の承認を得た後決定すること。

(5) 工事区画仮囲い・養生・清掃等は本工事に含む。

(6) 請負者及び下請負人等が、暴力団員及び暴力団関係者による不当介入を受けたときは、速やかに警察に通報を行うとともに捜査上必要な協力を行うこと及び市長に報告を行うこと。

17. 週休2日モデル工事の適用の有無

(1) 本工事は、週休2日モデル工事の対象である。

週休2日工事の対象工事の場合は名取市「週休2日モデル工事」実施要領にて行うこととする。

(2) 本工事の、週休2日モデル工事の種別は、現場閉所型である。

(3) 本工事の週休2日工事の区分は、当初発注において、補正係数なしで積算しており、「月単位の週休2日」、「完全週休2日」に取り組む場合は、工事着手前に受発注者間で協議の上、週休2日の区分を決定することとする。協議により、「月単位の週休2日」又は「完全週休2日」に取り組み、達成した場合は、精算変更時に達成した区分に応じた週休2日の補正係数に変更する。

18. 現場代理人(名取市ホームページ参照のこと)

(1) 現場代理人の常駐義務の緩和措置についての該当工事である。

(2) 現場代理人が兼務する場合は下記のとおりとする。

- ・工事担当課に届出書を提出すること。
- ・兼務する工事は名取市が発注する工事であること。
- ・工事現場の相互距離は自動車で行き可能な経路で10km 程度までとし、工事現場の運営・安全管理等に支障が無いこと。

19. 主任技術者(名取市ホームページ参照のこと)

(1) 主任技術者の専任要件の緩和措置についての該当工事である。

(2) 主任技術者が兼務する場合は下記のとおりとする。

- ・工事担当課に届出書を提出すること。
- ・兼務する工事は国、県または市町村が発注する工事であること。
- ・工事現場の相互距離は自動車で行き可能な経路で10km 程度までとし、工事現場の運営・安全管理等に支障が無いこと。

位置図



* 電子地形図25000（国土地理院）を加工して作成
<https://maps.gsi.go.jp/#15/38.149627/140.860949/&base=pale&ls=pale&disp=1&vs=cg1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f0>

愛島小学校：名取市愛島笠島字東蔵神34

名取市立愛島小学校屋内運動場屋根改修工事

参考金抜き内訳書

【 取扱上の注意事項 】

本設計書に記載されている数量は参考数量であり、本設計書は工事請負契約に記載されている設計図書には含まれない。

記号	名 称	仕 様	数 量	単位	単 価	価 格	備 考	摘 要
	愛島小学校屋内運動場屋根改修工事							
	指定仮設		1.0	式				
	建築工事		1.0	式			処分費:	
	直接工事費合計							
	計							

記号	名 称	仕 様	数 量	単位	単 価	価 格	摘 要
	指定仮設						
	キャスターゲート	W6.0m×H1.8m 6か月	2.0	か所			
	敷鉄板	積込み、運搬含む 6か月 1.524m×6.096m 47枚	369.0	m ²			
	仮囲い	成形鋼板 掛払い・賃料 基本料共 H=2.0m 6か月	61.3	m			
	仮囲い	ガードフェンス 掛払い・賃料 基本料共 H=1.8m 6か月	27.5	m			
	交通誘導員	1人	110.0	日			
	揚重機費	ラフテレーンクレーン25t吊	5.0	日			
	計						

記号	名 称	仕 様	数 量	単位	単 価	価 格	摘 要
A	愛島小学校屋内運動場屋根改修工事						
1	直接仮設		1.0	式			
2	屋根改修		1.0	式			
3	発生材処理		1.0	式			処分費
	計						

記号	名 称	仕 様	数 量	単位	単 価	価 格	摘 要
1							
1-1	直接仮設(屋内運動場)						
	墨出し		1,339	m ²			
	養生		1,339	m ²			
	整理清掃後片付け		1,339	m ²			
	くさび式緊結足場 (安全手摺共)	掛け払い手間・運搬費含む 建柵900 10m未満 3.5か月	1,380	m ²			
	層間塞ぎネット	掛け払い手間・運搬費含む	147	m			
	養生ネット	掛け払い手間・運搬費含む 防炎性能 I 類	1,380	m ²			
	小 計						

記号	名 称	仕 様	数 量	単位	単 価	価 格	摘 要
1-2	直接仮設(渡り廊下)						
	墨出し		171	m ²			
	養生		288	m ²			
	整理清掃後片付け		288	m ²			
	くさび式緊結足場 (安全手摺共)	掛け払い手間・運搬費含む 建枠600 10m未満 2.5か月	399	m ²			
	養生ネット	掛け払い手間・運搬費含む 防災性能 I 類	399	m			
	小 計						
	計						

記号	名 称	仕 様	数 量	単位	単 価	価 格	摘 要
2							
2-1	屋根改修(屋内運動場、下屋)						
	【撤去】						
	長尺カー鉄板屋根端部撤去 (軒先共)	長尺カー鉄板t-0.4 屋根端部W=150	106	m			
	長尺カー鉄板屋根端部撤去 (ケラバ共)	長尺カー鉄板t-0.4 屋根端部W=150	70.7	m			
	棟包み撤去 (木下地共)	長尺カー鉄板t-0.4 W=400	39.4	m			
	水返し撤去	長尺カー鉄板t-0.4 W=200	27.6	m			
	雪止め金物撤去	L-50x50x4	185	m			
	軒樋撤去	塩ビ角樋W=180	78.8	m			
	軒樋撤去	塩ビ角樋W=120	27.6	m			
	縦樋撤去 (押え金物共)	VP φ100	73.6	m			
	縦樋撤去 (押え金物共)	VP φ75	12.9	m			

記号	名 称	仕 様	数 量	単位	単 価	価 格	摘 要
	【改修】						
	屋根水洗い		1,339	m ²			
	屋根カバー工法新設	カラーガルバリウム鋼板-0.4(発泡ポリスチレン裏張り付き) 嵌合式瓦棒葺	1,339	m ²			
	軒先包み新設	カラーガルバリウム鋼板-0.4曲げ加工	106	m			
	ケラバ包み新設	カラーガルバリウム鋼板-0.4曲げ加工	70.7	m			
	棟包み新設 (木下地共)	カラーガルバリウム鋼板-0.4曲げ加工 W=400	39.4	m			
	水返し新設	カラーガルバリウム鋼板-0.4曲げ加工 W=200	27.6	m			
	雪止め金物新設	L-50x50x4 亜鉛メッキ品 取付金具共	185	m			
	大屋根軒樋新設	塩ビ角樋W=200 吊金具@455共	78.8	m			
	軒樋落葉対策ネット取付 (屋内運動場屋根)	樹脂製 ワイヤー固定共	78.8	m			
	下屋軒樋新設	塩ビ角樋W=150 吊金具@455共	27.6	m			
	竖樋新設 (SUS押え金物共)	VP φ100	73.6	m			
	竖樋新設 (SUS押え金物共)	VP φ75	12.9	m			
	ドレン新設	VP φ100	8.0	か所			
	ドレン新設	VP φ75	3.0	か所			
	庇水洗い		4.1	m ²			

記号	名 称	仕 様	数 量	単位	単 価	価 格	摘 要
	下地調整(RB種)の上、DP塗装	DP塗1級 錆止め2回塗共	4.1	m ²			
	小 計						

記号	名 称	仕 様	数 量	単位	単 価	価 格	摘 要
2-2	屋根改修(渡り廊下)						
	【撤去】						
	大波石綿スレート葺撤去	アスベスト含有品 t-6.3	196	m ²			
	隅棟包み撤去	塩ビ鋼板加工t-0.4	5.3	m			
	水返し撤去 (渡り廊下2-校舎壁)	塩ビ鋼板加工t-0.4	26.3	m			
	高低差部分水返し撤去 (渡り廊下1-2)	塩ビ鋼板加工t-0.4	5.3	m			
	高低差部分水返し撤去 (渡り廊下2)	塩ビ鋼板加工t-0.4	5.9	m			
	高低差部分水返し撤去 (渡り廊下2-3)	塩ビ鋼板加工t-0.4	3.1	m			
	シーリング撤去 (樋貫通部)	10x10 1か所1m未満程度	2.0	か所			
	軒樋撤去	塩ビ角樋W=100	37.8	m			
	軒樋撤去	VP φ100半割	60.4	m			
	縦樋撤去 (押え金物共)	VP φ75	36.5	m			
	仮設校舎庇撤去	W3,000xD1,200	3.6	m ²			

記号	名 称	仕 様	数 量	単位	単 価	価 格	摘 要
	【改修】						
	簷合式折板葺新設	カラーガルバリウム鋼板t-0.8 山高H=150	171	m ²			
	タイトフレーム新設	亜鉛メッキ鋼板t-2.3	100	m			
	タイトフレーム新設(傾斜部)	亜鉛メッキ鋼板t-2.3	15.9	m			
	傾斜部折版切断加工		15.9	m			
	傾斜部面戸新設	シーリング共	15.9	m			
	ケラバ包み新設	カラーガルバリウム鋼板t-0.4曲げ加工	21.6	m			
	隅棟包み新設	カラーガルバリウム鋼板t-0.4曲げ加工	5.3	m			
	軒樋新設	塩ビ角樋W=150 吊金具@500共	98.1	m			
	縦樋新設 (SUS押え金物共)	VP φ75	36.5	m			
	ドレン新設	VP φ75	13.0	か所			
	高低差部分水返し新設 (渡り廊下1-2)	カラーガルバリウム鋼板t-0.4曲げ加工	5.3	m			
	高低差部分水返し新設 (渡り廊下2)	カラーガルバリウム鋼板t-0.4曲げ加工	5.9	m			
	高低差部分水返し新設 (渡り廊下2-3)	カラーガルバリウム鋼板t-0.4曲げ加工	3.1	m			
	シーリング新設 (樋貫通部,塩ビ鋼板部)	MS-2 10x10 1か所1m未満程度	3.0	か所			
	屋根水洗い (渡り廊下1,3)		198	m ²			

記号	名 称	仕 様	数 量	単位	単 価	価 格	摘 要
	下地調整(RB種)の上、DP塗装 (渡り廊下1,3)	DP塗1級 錆止め2回塗共	198	m ²			
	屋根改修現場成形費 (屋内運動場、下屋、渡り廊下共)	運搬費共	1.0	式			
	小　計						
	計						

記号	名 称	仕 様	数 量	単位	単 価	価 格	摘 要
4							
	発生材処理						
	■発生材積込み						
	積込み費	木くず	0.2	m3			
	積込み費	廃プラスチック	1.1	m3			
	積込み費	アスベスト含有成形板	1.4	m3			
	小 計						

記号	名 称	仕 様	数 量	単位	単 価	価 格	摘 要
	■発生材運搬						
	運搬費	Dt2t B.H0.13 DID有 木くず 距離 8.2km	0.2	m3			
	運搬費	Dt2t B.H0.13 DID有 廃プラスチック 距離 8.2km	1.1	m3			
	運搬費	Dt2t B.H0.13 DID有 アスベスト含有成形板 距離 28.4km	1.4	m3			
	小 計						

記号	名 称	仕 様	数 量	単位	単 価	価 格	摘 要
	■発生材処分						
	処分費	木くず	0.2	m3			
	処分費	廃プラスチック	1.1	m3			
	処分費	アスベスト含有成形板	1.4	m3			
	小 計						

愛島小学校屋内運動場屋根改修工事

図 面 リ ス ト	
図 面 番 号	建 築 意 匠 図
A — 1	改修工事特記仕様書1
A — 2	改修工事特記仕様書2
A — 3	案内図・配置図・仮設計画図
A — 4	【既存・改修】屋内運動場仕上表、・階平面図
A — 5	【既存・改修】屋内運動場・下屋・庇屋根伏図
A — 6	【既存・改修】立面図
A — 7	【既存・改修】屋内運動場矩計図1
A — 8	【既存・改修】屋内運動場矩計図2
A — 9	【既存・改修】渡り廊下仕上表・平面図・屋根伏図
A — 1 0	【既存・改修】渡り廊下矩計図
A — 1 1	雑詳細図1
A — 1 2	雑詳細図2

令和 8 年 6 月



建築改修工事特記仕様書【令和8年4月版】

I 工事概要

1 工事番号・名称

— 号

愛島小学校屋内運動場屋根改修工事

2 工事場所

名取市愛島笠島字東蔵神34

3 用途地域等

都市計画区域(○内・外)用途地域()用途指定なし()
防火地域等(・防火・準防火○指定なし・22条)
その他の地域・地区()

4 主要用途

屋内運動場

5 敷地面積

14,879㎡

6 工事の概要

屋内運動場：屋根カバー工法による改修工事、軒樋・堅樋改修工事
渡り廊下：屋根葺替え及び一部屋根塗装改修工事、軒樋・堅樋改修工事

7 別途工事

8 その他

9 特記仕様書の範囲

特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印のもので構成する。
・構造特記仕様書・外構工事特記仕様書・植栽工事特記仕様書
・解体工事特記仕様書・電気設備工事特記仕様書・機械設備工事特記仕様書

II 建築工事仕様

1. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(令和7年版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)による。ただし、「改修標準仕様書」に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書(令和7年版)」(以下「標準仕様書」という。)及び「建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)」(以下「解体共通仕様書」という。)による。
なお、施工条件明示書は特記仕様書に含める。

2. 特記仕様

1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。

2) 特記事項は、○印のついたものを適用する。○印のつかない場合は※印のついたものを適用する。○印と※印のついた場合は、共に適用する。

3) 特記事項に記載の< >、()及び[]内の表示番号は、それぞれ「改修標準仕様書」、「標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章

項目

特記事項

1 一般事項

○ 工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合には、監督職員に報告の上、指示に従うこと。

○ 受注者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。

○ 施工体系図を現場に掲示すること。
・工事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況(地盤、擁壁、内外壁、床、建具等)を調査・記録し、報告書を監督職員に提出すること。
※工事に伴う環境調査要領 平成28年4月(東京都建設局編集)による
※調査に先立って調査計画書を作成し監督職員の確認を受けること
調査範囲 ※ 図示

2 適用基準等

○ 建設工事執行規則(昭和39年3月宮城県規則第9号)

○ 宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱

○ 建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和4年版)

○ 営繕工事写真撮影要領(国土交通省大臣官房官庁営繕部 令和5年版)及び工事写真撮影ガイドブック(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和5年版)

3 概成工期

工事工期より 日前 <1.2.1>

4 工事実績情報

※ 適用する(請負精算額が500万円以上の場合) <1.1.4>
受注時、登録内容の変更時及び工事完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、契約締結後、配置技術者の変更後、変更契約締結後及び工事完成後の10日以内に登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。
・適用しない

5 発生材の処理等

発生材の処理 <1.3.12>
・引渡しを要するもの()
・特別管理産業廃棄物()
受入れ施設名・所在地(km)
・現場において再利用を図るもの()
・再生資源化を図るもの
種類 受入施設名 所在地 備考(km)
・コンクリート塊
・アスファルト
コンクリート塊
・建設発生木材 (株)イーストア空港リサイクルセンター 岩沼市下野郷字中野馬場34-1 8.2km
・廃プラスチック (株)イーストア空港リサイクルセンター 岩沼市下野郷字中野馬場34-1 8.2km
・その他の廃棄物(安定型)
種類 受入施設名 所在地(km) 備考
・アスベスト含有成形板 (株)ジャパソクリン 仙台市青葉区芋沢字青野木109-1 28.4km

・その他の廃棄物(管理型)

種類 受入施設名 所在地(km) 備考

上記の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。
また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること

PCB(ポリ塩化ビフェニール)含有機器 ・有(数量は図示) [5.4.1]
・無

PCB含有シーリング材 ・有(施工範囲は図示) [5.4.1]
・無

PCBを含有する機器等については、飛散、流失等がないように適切な容器に納め、適切な場所に保管し、工事完了後、監督職員に引き渡す。

アスベストの処理
吹き付けアスベスト除去工事 ・有(図示) ・無
受け入れ施設名・所在地(km)
アスベスト含有保温材除去工事 ・有(図示) ・無
受け入れ施設名・所在地(km)
アスベスト成形板除去工事 ○有(渡り廊下2屋根) ・無
受け入れ施設名・所在地(km)：(株)ジャソクリン 仙台市青葉区芋沢字青野木109-1(28.4km)

ヒ素又はカドミウム含有石膏ボードの処理
ヒ素又はカドミウムボード ・有(図示) ・無
次に該当する場合は、指定する場所に処分すること。
<対象となる石膏ボード>
小名浜吉野石膏(株) いわき工場 昭和48年10月～平成9年4月の間に製造されたもの
日東石膏ボード(株) 八戸工場 平成4年10月～平成9年4月の間に製造されたもの
指定する処分場
【名称： 所在地(km) 】
・適用する ※ 適用しない <1.3.3>

<1.3.10>
工事の施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、監督職員から指示があった場合は「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。(宮城県HP「事故発生報告」参照)

<1.4.2>
材料の品質等
※ 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督職員の承諾を受ける。
特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとす。ただし、同等のものとす場合は、監督職員の承諾を受ける。

<1.4.1>
環境への配慮
※ 使用する材料は、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮し、かつ石綿を含有しないものとする。

※ ホルムアルデヒド仕様
使用する材料のホルムアルデヒド仕様は以下のとおりとする。
ホルムアルデヒド放散量 規制対象外 の場合の建築材料
1) J I S及びJ A SのF☆☆☆☆品
2) 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品
3) 次の表示のあるJ A S適合品
a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用
b. 接着剤等不使用
c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用
d. ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用

<1.5.10><1.7.10>
※ ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定
試料採取及び測定は、厚生労働省の「室内空気中化学物質の測定マニュアル(統合版)」の最大濃度推定法による。

測定対象物質
※ホルムアルデヒド(濃度指針値 100μg/m3・0.08ppm)
※ホルムアルデヒド(濃度指針値 220μg/m3・0.05ppm)
※ホルムアルデヒド(濃度指針値 260μg/m3・0.07ppm)
※ホルムアルデヒド(濃度指針値 370μg/m3・0.085ppm)
※ホルムアルデヒド(濃度指針値 200μg/m3・0.05ppm)
測定する室等：()
測定結果等報告書の提出
次の事項を記載した報告書を1部提出する。
a 測定結果
b 試料採取時の状況(気温・湿度(室外・室内)、天候、風の状況、日射進入状況、測定年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事完成時から測定日までの日数)
c 試料採取方法、測定方法、使用した測定機器
測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合は、引渡は受けない。
※ 室内VOC濃度の測定結果に関する書面の当該施設への提示については、施設管理者に依頼する。
総揮発性有機化合物の測定は「11章 総揮発性有機化合物(TVOC)測定」参照

「改修標準仕様書」及び「標準仕様書」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。

① 建築基準法による風圧力等の指定

<3.5.4><3.9.3><5.11～13.2><5.14.5>(13.2.3)(13.3.3)

適用工事 建築基準法の指定
・合成高分子系ルーフィングシート 風速(V0) ※30
・アルミニウム笠木・金属板屋根葺 地表面粗度区分・Ⅱ・Ⅲ
○折板屋根葺・ガラスブロック 多雪地域の指定・有・無
・重量シャッター・軽量シャッター
・オーバーヘッドドア・屋上緑化

※ 図示 現状平均地盤高

施工数量調査 <1.6.2>
調査項目 調査範囲 調査方法 成果品

・既存部分の破壊を行った場合の補修方法は、図示による。 <1.6.3>
・下表で技能士を適用することとした職種に、1級又は単一級技能士を配置する。 <1.7.2>
※ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級、2級又は単一級技能士を配置する。
※ 下表で技能士を適用しないとした職種でも、技能士の配置に努めること。

工事種目 技能検定職種(技能検定作業)
以下に該当する作業がある以下の職種(作業)の全て
仮設工事 ○とび(とび作業)
防水改修工事 ・防水施工 ・アスファルト防水工事作業
・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業
・アクリルゴム系塗膜防水工事作業
・合成ゴム系シート防水工事作業
・塩化ビニル系シート防水工事作業
・シーリング防水工事作業
・改質アスファルトシート防水工事作業
・FRP防水工事作業

外壁改修工事 ・左官(左官作業)・タイル張り(タイル張り作業)
・樹脂接着剤注入施工(樹脂接着剤注入工事作業)
・塗装(建築塗装作業)
建具改修工事 ・サッシ施工(ビル用サッシ施工作業)
・ガラス施工(ガラス工事作業)
・自動ドア施工(自動ドア施工作業)
内装改修工事 ・内装仕上施工 ・プラスチック系床仕上工事作業
・木質系床仕上工事作業
・ボード仕上工事作業
・鋼製下地工事作業
・表装(壁装作業)・建築大工(大工工事作業)
塗装改修工事 ○塗装(建築塗装作業)
耐震改修工事 ・鉄筋施工(鉄筋組立作業)
・型枠施工(型枠工事作業)・とび(とび作業)
・コンクリート圧送施工(コンクリート圧送工事作業)
・ALCパネル施工(ALCパネル工事作業)
コンクリートブロック・組立・押出成形セメント板工事
石工事 ・石材施工(石張り作業)
排水工事 ・配管(建築配管作業)
舗装工事 ・路面標示施工 ・溶融・インパクトマーカ工事作業
・加熱インパクトマーカ作業
植栽工事 ・造園(造園工事作業)
屋根及びとび工事 ○建築板金(内外装板金作業)

営繕工事完成引渡要領(令和7年4月1日宮城県土木部営繕課・設備課)により作成する。
※ 白焼縮小(A3版)2つ折製本 2部
※ 完成図面 JWW形式又はDXF形式のCADデータ DVD-R等2部
及びPDFデータ
※ 作成する 作成しない
営繕工事写真撮影要領により、完成届に添付する完成写真とは別に次のものを原本(電子媒体)とともに監督職員に提出する。
なお、原本は、DVD-R等で提出すること。

分類 サイズ 撮影箇所数 部数 提出様式
※カラー ※L ※営繕工事写真 ※工事用アルバムA4版
・白黒 ・2L 撮影要領の ※1部 ポケット式程度
・六切り 完成写真程度 ・部 ・フリーアルバム
(台紙寸法323×270程度)

アルバムは、監督職員との協議により紙媒体又は電子媒体とする。

施工範囲 各工事の区分表による。
施工図 設備機器の位置、取り扱い等が検討できる施工図を提出して監督職員の承諾を受ける。

工事目的物及び工事材料等について、次により保険に付す。
保険の種類 ※ 火災保険 ※ 建設工事保険
保険期間 ※ 工事着手から工事目的物引き渡しまで

※ 設ける 設けない
仮囲いの位置及び延長は図示による。
○キャスターゲート(H=1.8、W=6.0)× 2箇所
○成形鋼板(H=2.0) 数量：図示
○ガードフェンス(H=1.8) 数量：図示
○ 配置する(110日×1人=110人日) 配置しない
・トラッククレーン(25t吊り)× 5日

② 設計GL

13. 施工調査

④ 技能士

⑥ 電気保安技術者

⑦ 事故報告

⑧ 建築材料等

9. 室内の空気中の化学物質濃度の測定

⑩ 特別な材料の工法

④ 工事表示板

⑤ 足場等

⑥ 養生

7. 仮設間仕切り

8. 監督職員事務所

⑨ 工事用水

⑩ 工事用電力

⑪ 工事用通路

3 防水改修工事

4. アスファルト防水

※ 設置する ・設置しない
営繕工事における工事及びコスト表示要領(令和6年4月1日宮城県土木部営繕課・設備課制定)による。
外部足場 ○設置する (設置範囲 ○工事に必要な範囲) <2.2.1>
<表2.2.1>
防護シート ・設置しない
○設置する (設置範囲 ○工事に必要な範囲)
内部足場 ・設置しない
(・ ※脚立、足場板等)
○設置しない
・材料、撤去材等の運搬方法
種別(・A種・B種・C種・D種・E種)
C種：利用可能なエレベーター()
D種：利用可能な階段()
足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省令和5年12月改定)」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。
家具及び設備の移動 ・行う(図示) ○行わない <2.3.1>
既存ブラインド・カーテン等の養生及び保管 ・行う ○行わない
養生の方法
保管場所
・設ける(図示) <2.3.2><表2.3.1>
・A種・B種 ※C種
※ 設けない(請負者事務所に打合せ会議室を確保する) <2.4.1>
・設ける(規模 m程度 請負者事務所と同様 ・可・否)
備品()
構内既存の施設 ○利用できる(※有償・無償) ※ 利用できない
構内既存の施設 ○利用できる(※有償・無償) ※ 利用できない
※ 溶接などの消費電力の大きな機器を除く
※ 指定しない ・指定する(図示)

※改修標準仕様書3.1.3(5)(7)～(9)による
・
<3.2.3～4><3.2.6>
既存保護層の撤去
・行う(範囲・図示による)・
・行わない
既存防水層の撤去
・行う(範囲・図示による)・
・行わない
露出防水層表面の仕上り塗装除去
・行う(・M4AS・M4AS1・M4C・M4D1・L4X)・
・行わない
補修箇所の形状、長さ、数量等
※図示による <3.2.6>
POS工法及びPOS1工法(機械的固定方法)の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処置
※改修標準仕様書3.2.6(4)(g)①～③による
設備機器架台、配管受部、パラベット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理
※監督職員と協議する
・図示による
<3.1.4><3.3.2～5><表3.1.1><表3.3.3～10>
新設防水層(屋根保護絶縁工法)の種別
改修工法 新設種別 施工箇所 絶縁用シート 断熱材
・P2A ・A-1 ※ホリゾンフィルム
・A-2 厚さ0.15mm以上
・A-3 又はフラットヤーンクロス
・PIB ・B-2 70g/㎡程度
・P2AI ・AI-1 ※フラットヤーンクロス
・AI-2 70g/㎡程度 ※JISA9521に基づく押出法
・AI-3 ホリゾンフォーム断熱材3種BA
・PIBI ・BI-1 (キレン層付き)
・BI-2 厚さ・
改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.3.3～表3.3.6による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分 ※R種
厚さ()mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.3.3及び表3.3.4による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分 ※R種
厚さ()mm以上
平場の保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ ※水下 80mm以上
床タイル張り ※水下 60mm以上
立上り部の保護方法
・乾式保護材(品質・性能、試験方法は別表による)
・窯業系パネルI類(厚さ (mm) 幅 (mm))
・れんが押え(※JIS R 1250 (mm))
・コンクリート押え
・モルタル押え(屋内)

特記事項

設計年月日 年 月 日

管理技術者 担当者 作図

工事名 愛島小学校屋内運動場屋根改修工事

図面名 改修工事特記仕様書1

縮尺 A1: 1/100
A3: 1/200

図面番号 A - 1

株式会社 桂 設 計

一級建築士登録 第324846号 長南 京子

⑧

シーリング

シーリング改修工法の種類
○シーリング充填工法
・シーリング再充填工法
・拡幅シーリング再充填工法
・ブリッジ工法
ボンドブレーカー張り
・適用する
・適用しない
エッジング材張り
・適用する
・適用しない

シーリング材の種類、施工箇所
下表以外は、改修標準仕様書表3. 7. 1による。

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
渡り廊下1屋根：樋貫通部周囲	MS-2 10x10

仕上げを行わない施工箇所
・図示による

シーリング材の目地寸法
※改修標準仕様書3. 7. 3(1)による
・図示による

接着性試験
※簡易接着性試験
・引張接着性試験

⑨

とい

といその他の材種
・配管用銅管
○硬質ポリ塩化ビニル管
・ルーフトレン
・表面処理銅板

とい受金物材種
※改修標準仕様書3. 8. 2による（溶融亜鉛めっきを行ったもの）

形状
※市販品（とい径100以下）
※25×4. 5以上（とい径100を超えるもの）

取付け間隔
※改修標準仕様書3. 8. 2による

足金物材種
※改修標準仕様書3. 8. 2による（溶融亜鉛めっきを行ったもの）

形状
※市販品

取付け間隔
※改修標準仕様書3. 8. 2による

多雪地域
・適用する
・適用しない
防露材のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法
・図示による
銅管製といの防露巻き
※改修標準仕様書表3. 8. 4による
・

7

塗装改修工事

⑤

塗装

⑦. 5. 2～7. 12. 2

塗装の種類	塗装面	工程	
		塗替え	新規
・合成樹脂調合ペイント塗り（SOP） 種類 ※1種 ・2種	木部屋外	※B種	・ ※A種
	木部屋内	※B種	・ ※B種
	鉄鋼面	※B種	・ ※B種 ・A種
	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具） ※1種 亜鉛めっき鋼面（鋼製建具以外）	※A種 ※B種	・ ※B種 ・ ※B種
・クリヤラッカー塗り（GL）		※B種 ・A種 種類：	※B種 ・A種 種類：
	・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り（NAD）	※B種	・A種 ※B種 ・A種
○耐候性塗料塗り（DP）	鉄鋼面		
	上塗り等級（ 1 ）級		
	亜鉛めっき鋼面		
	上塗り等級（ ）級		
・つや有合成樹脂エポキシペイント塗り（EP-G）	コンクリート面等	※B種	・ ※B種 ・A種
	屋内の木部	※B種	・ ※A種
	屋内の鉄鋼面	※B種	・ ※B種 ・A種
	屋内の亜鉛めっき面	※A種	・ ※A種 B種
	・合成樹脂エポキシペイント塗り（EP）	※B種	・ ※B種 ・A種
・合成樹脂エポキシ模様塗料塗り（EP-T）	※B種	・ ・A種 B種	
・ウレタン樹脂ワニス塗り（UC）	※B種	・ ※B種 ・A種	
・ビグメントステイン塗り			
・木材保護塗料塗り（WP）	※B種	・A種	※B種 ・A種

⑨. 1. 1、3～6

施工調査
※石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によって石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無を調査する。
調査範囲（
貸与資料（

・石綿粉じん濃度測定
測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数 (各施工箇所ごと)
	測定 1	処理作業前	処理作業室内	・計 点
	測定 2		調査対象室外部の付近	・計 点
	測定 3		処理作業室内	・計 点
	測定 4		セキュリティーゾーン入口	・計 点
	測定 5	処理作業中	集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)	出口吹出し風速 1m/sec以下の位置 ・計 点
			処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界	・計 点
	測定 7	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	・計 点
	測定 8	処理作業後	処理作業室内	・計 点
	測定 9	(シート撤去後 1週間以降)	調査対象室外部の付近	・計 点

測定方法
・自動測定器による測定

測定名称	測定方法
・測定 4 ・測定 5	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

・JIS K 3850-1に基づいた測定

測定名称	メンブレンフィルタ 直径(mm)	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)
・測定 4 ・測定 5	25	5	30
・測定	25	10	120
・測定	47	10	240
・測定			

石綿含有建材の処理
・石綿含有吹付け材（石綿含有保温材等を切断又は破砕して除去する場合を含む）の除去
除去対象範囲
・図示による
除去工法
※改修標準仕様書9. 1. 3（2）(7)による

除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置
※湿潤化
・固化
除去した石綿含有吹付け材等の処分
・埋立処分(管理型最終処分場)
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・石綿含有保温材等（石綿含有けい酸カルシウム板第二種含む）の除去
除去対象範囲
・図示による
除去工法
※手ばらし
除去した石綿含有保温材等の飛散防止
※湿潤化
・固化
除去した石綿含有保温材等の処分
・埋立処分(管理型最終処分場)
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・石綿含有けい酸カルシウム板第一種の切断、破砕等による除去
除去対象範囲
・図示による
隔離養生（負圧不要）方法
・図示による
足場
・図示による
除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の処分
・埋立処分(安定型最終処分場)
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

○石綿含有成形板の除去（石綿含有けい酸カルシウム板第一種の手ばらしによる除去を含む。）
除去対象範囲
○渡り廊下2屋根：大波石綿スレート葺t-6. 3
除去した石綿含有成形板の処分
・石綿含有せっこうボード
※埋立処分(管理型最終処分場)
○石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板
○埋立処分(安定型最終処分場)
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

特記事項

設計年月日

年 月 日

管理技術者

担当者

作 図

工 事 名

愛島小学校屋内運動場屋根改修工事

縮 尺

A1: 1/100
A3: 1/200

図 面 名

改修工事特記仕様書2

図 面 番 号

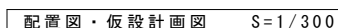
A - 2

株式会社 桂 設 計

一級建築士登録 第324846号 長南 京子

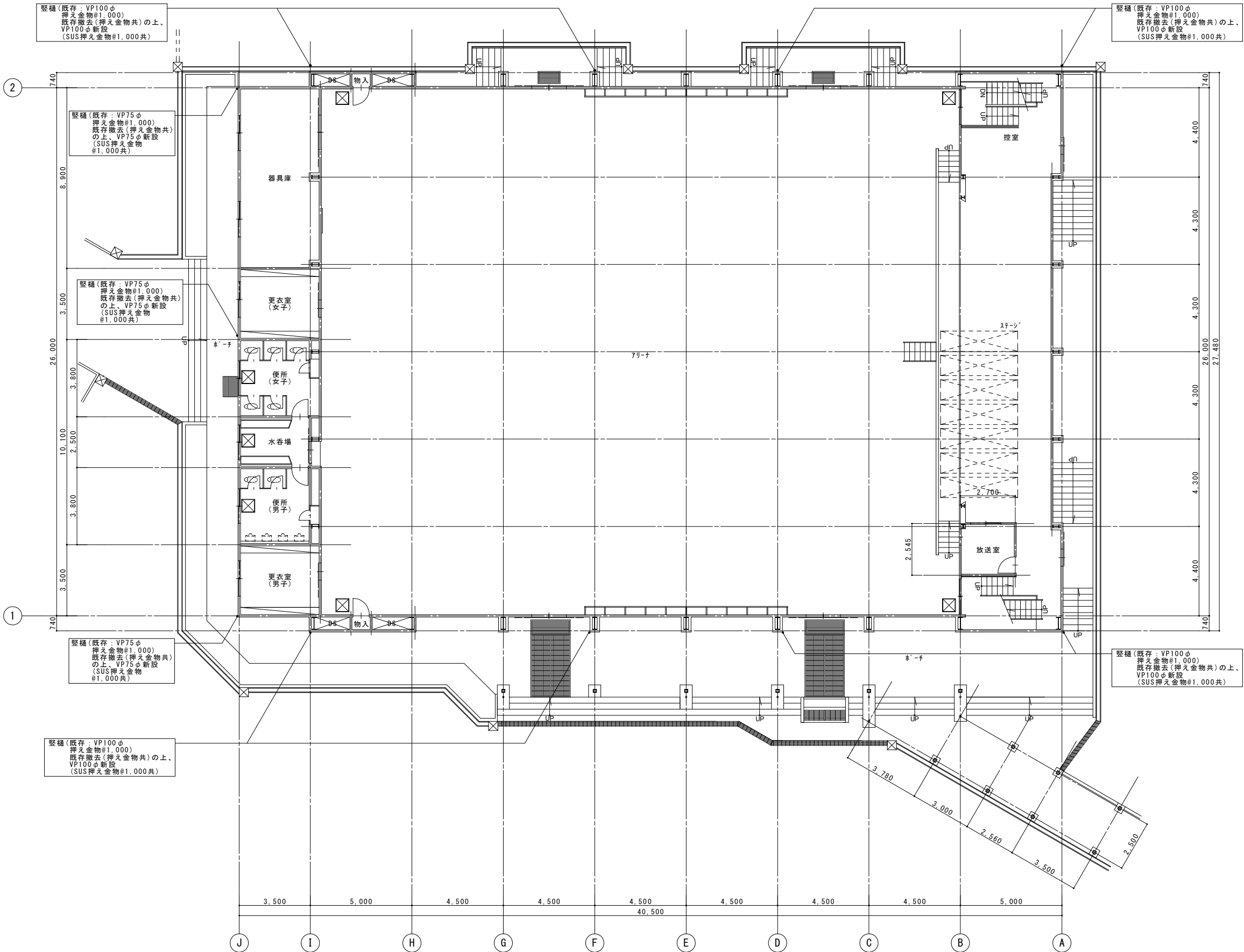


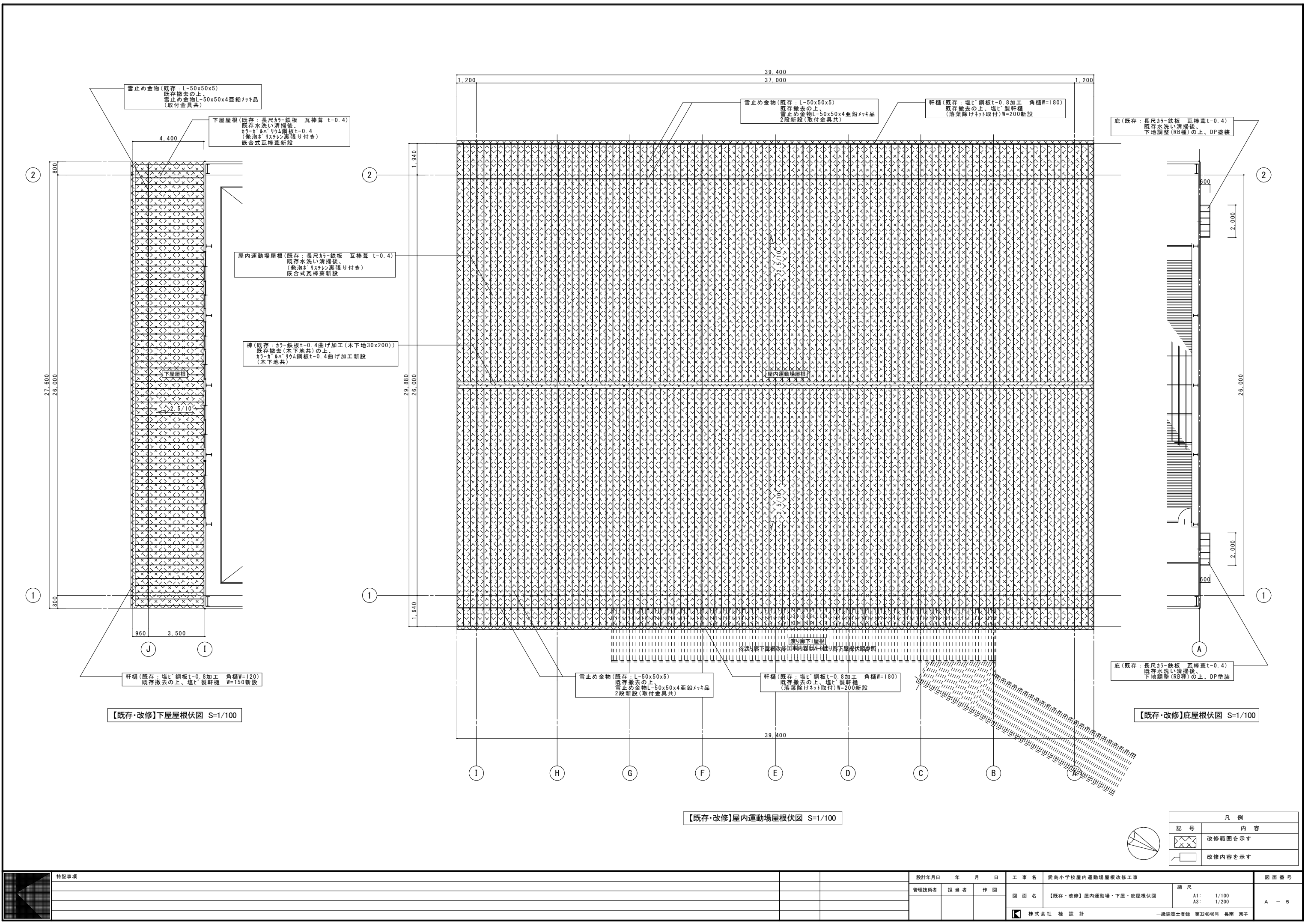
案内図 S=N. S



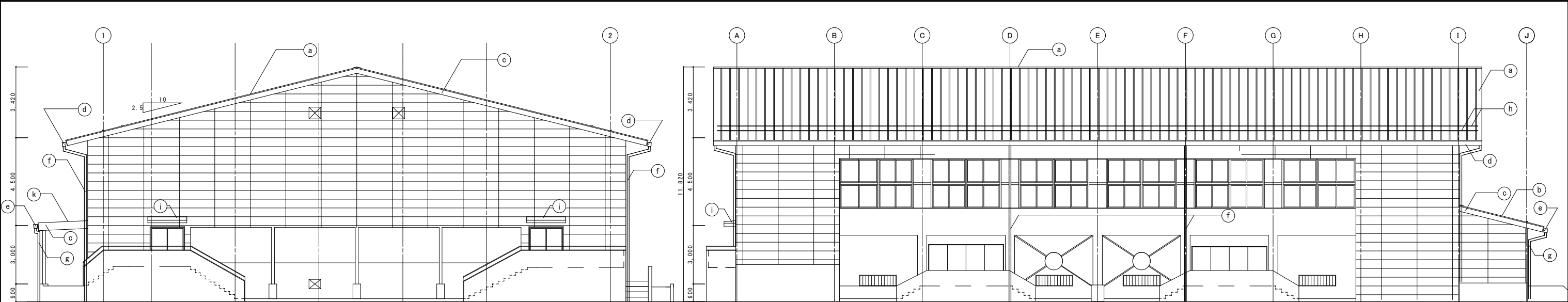
	特記事項				設計年月日	年	月	日	工 事 名	愛島小学校屋内運動場屋根改修工事		図 面 番 号
					管理技術者	担 当 者	作 図		図 面 名	案内図・配置図・仮設計計画	縮 尺 A1: 1/300 A3: 1/600	A - 3
									 株式会社 桂 設 計	一級建築士登録 第324846号 長南 京子		

外部仕上表 【屋内運動場】		
区 分	仕 上	
屋根 (屋内運動場)	既存	屋根：長尺ｶﾞﾗｰ鉄板 瓦棒葺 t=0.4 下地：ｱｽﾌﾙﾄﾙｰﾌﾞｰﾌｨﾝｸﾞ 22kg、木毛ﾏｸﾞﾈｼｱ系ｾﾒﾝﾄ板 t=25 棟：ｶﾞﾗｰ鉄板t=0.4曲げ加工(木下地30x200) 軒先、ｸﾗﾊﾞｰ：ｶﾞﾗｰ鉄板包みt=0.4 雪止め金物：鋼製L=50x50x5 2段
	改修	屋根：既存水洗い清掃後、 ｶﾞﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t=0.4(発泡ﾎﾟﾘｽﾃﾚﾝ裏張り付)嵌合式瓦棒葺新設 下地：既存のまま 棟：既存撤去(木下地共)の上、ｶﾞﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t=0.4曲げ加工新設(木下地共) 軒先、ｸﾗﾊﾞｰ：既存撤去の上、ｶﾞﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t=0.4曲げ加工新設 雪止め金物：既存撤去の上、雪止め金物L=50x50x4亜鉛ﾒｯｷ品2段新設(取付金具共)
屋根 (下屋)	既存	屋根：長尺ｶﾞﾗｰ鉄板 瓦棒葺 t=0.4 下地：ｱｽﾌﾙﾄﾙｰﾌﾞｰﾌｨﾝｸﾞ 22kg、木毛ﾏｸﾞﾈｼｱ系ｾﾒﾝﾄ板 t=25 軒先、ｸﾗﾊﾞｰ：ｶﾞﾗｰ鉄板包みt=0.4 水返し：ｶﾞﾗｰ鉄板曲げ加工t=0.4 雪止め金物：鋼製L=50x50x5 2段
	改修	屋根：既存水洗い清掃後、 ｶﾞﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t=0.4(発泡ﾎﾟﾘｽﾃﾚﾝ裏張り付)嵌合式瓦棒葺新設 下地：既存のまま 軒先、ｸﾗﾊﾞｰ：既存撤去の上、ｶﾞﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t=0.4曲げ加工新設 水返し：既存撤去の上、ｶﾞﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t=0.4曲げ加工新設 その他：既存撤去の上、雪止め金物L=50x50x5亜鉛ﾒｯｷ品新設(取付金具共)
樋	既存	軒樋 屋内運動場：塩ﾋﾞ鋼板t=0.8加工 角樋W=180 下屋：塩ﾋﾞ鋼板t=0.8加工 角樋W=120 竖樋 屋内運動場：VP100φ 押え金物φ1,000 下屋：VP75φ 押え金物φ1,000
	改修	軒樋 屋内運動場：既存撤去の上、塩ﾋﾞ製軒樋(落葉除けｷｯﾄ取付)W=200新設 下屋：既存撤去の上、塩ﾋﾞ製軒樋W=150新設 竖樋 屋内運動場：既存撤去(押え金物共)の上、 VP100φ新設(SUS押え金物φ1,000共) 下屋：既存撤去(押え金物共)の上、 VP75φ新設(SUS押え金物φ1,000共)
庇	既存	屋根：長尺ｶﾞﾗｰ鉄板 瓦棒葺 t=0.4
	改修	屋根：既存水洗い清掃後、下地調整(RB種)の上、DP塗装



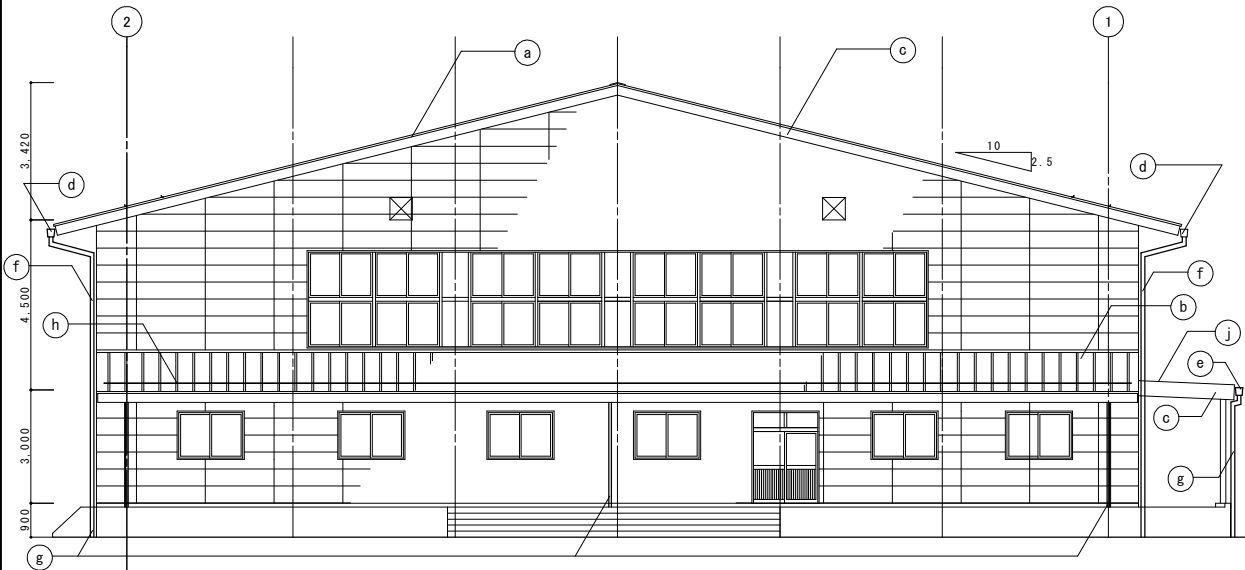


	特記事項				設計年月日	年	月	日	工事名	愛鳥小学校屋内運動場屋根改修工事	縮尺	図面番号
					管理技術者		担当者	作図	図面名	【既存・改修】屋内運動場・下屋・庇屋根伏図	A1: 1/100 A3: 1/200	A - 5
										株式会社 桂 設 計	一級建築士登録 第324846号 長南 京子	

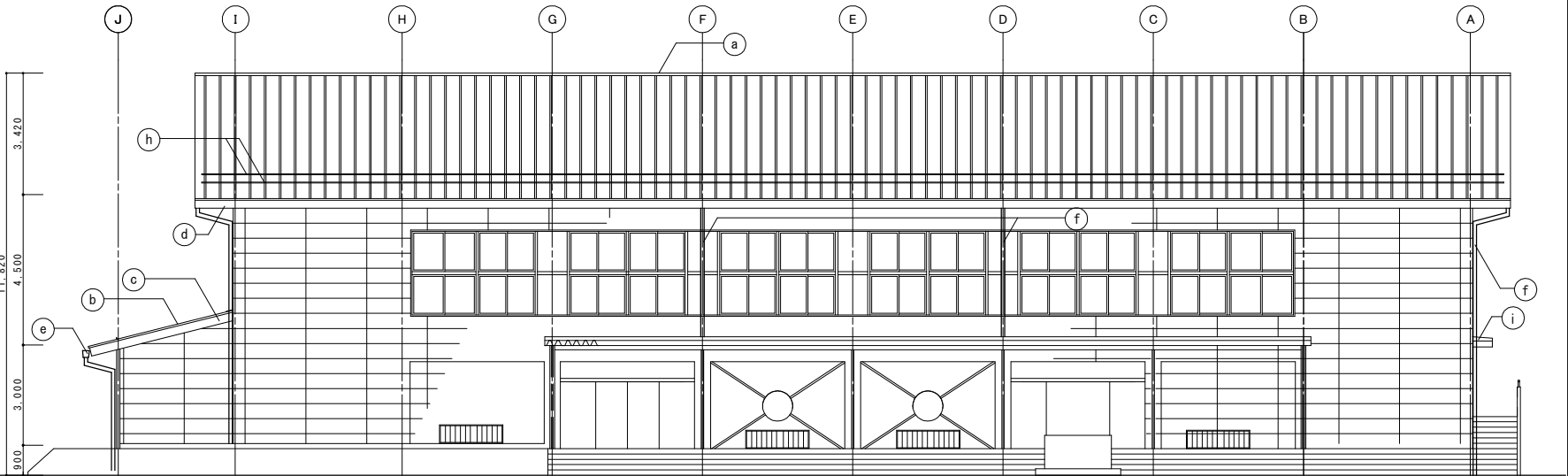


【既存・改修】屋内運動場北面立面図 S=1/100

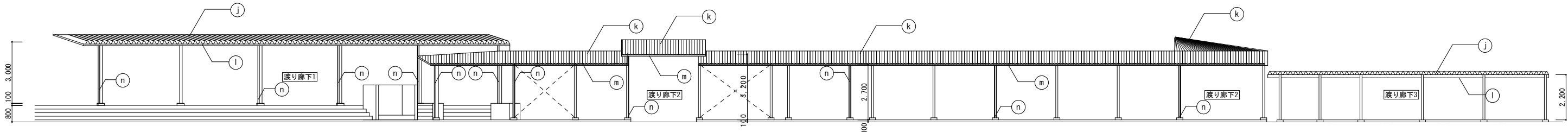
【既存・改修】屋内運動場西面立面図 S=1/100



【既存・改修】屋内運動場南面立面図 S=1/100

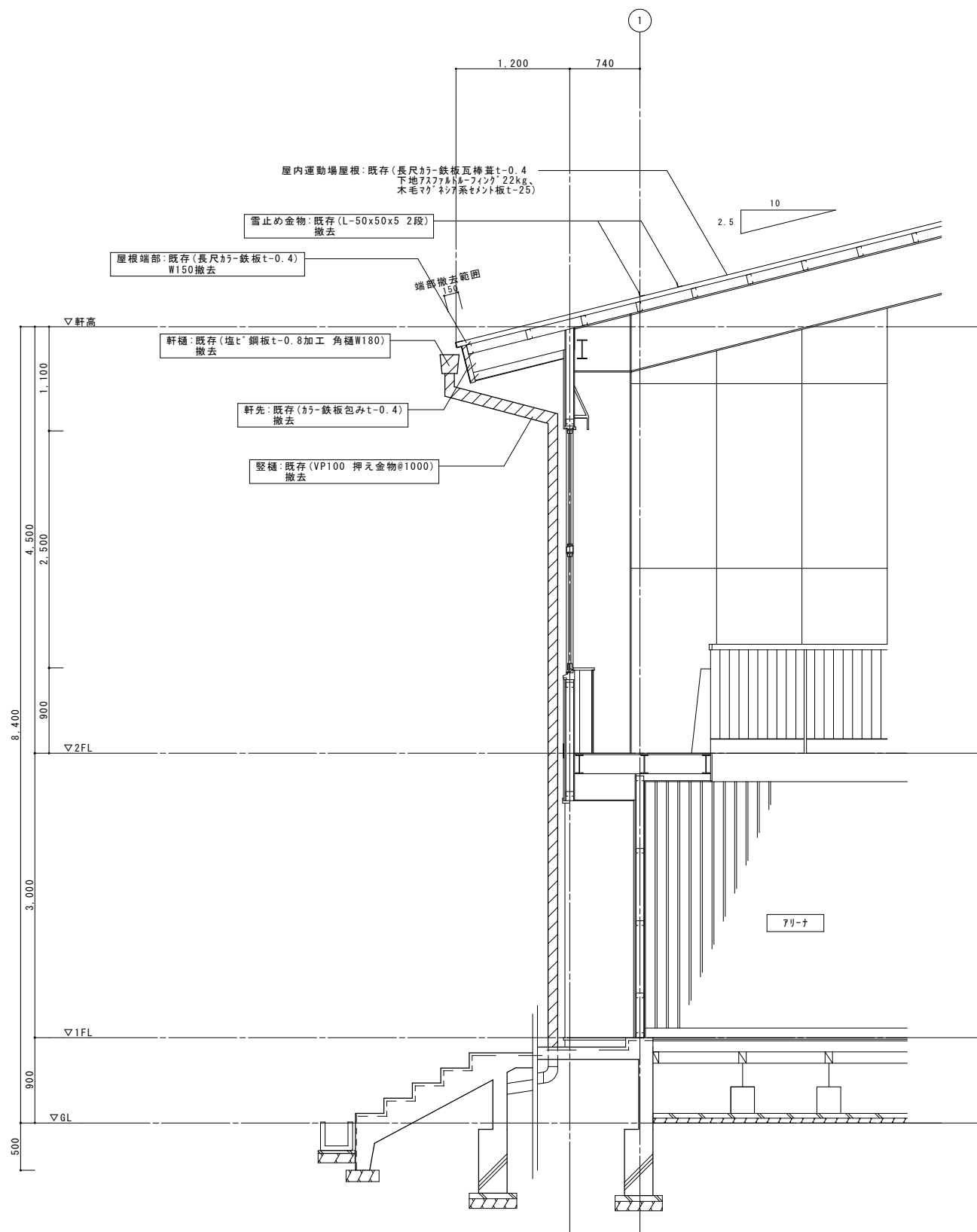


【既存・改修】屋内運動場東面立面図 S=1/100



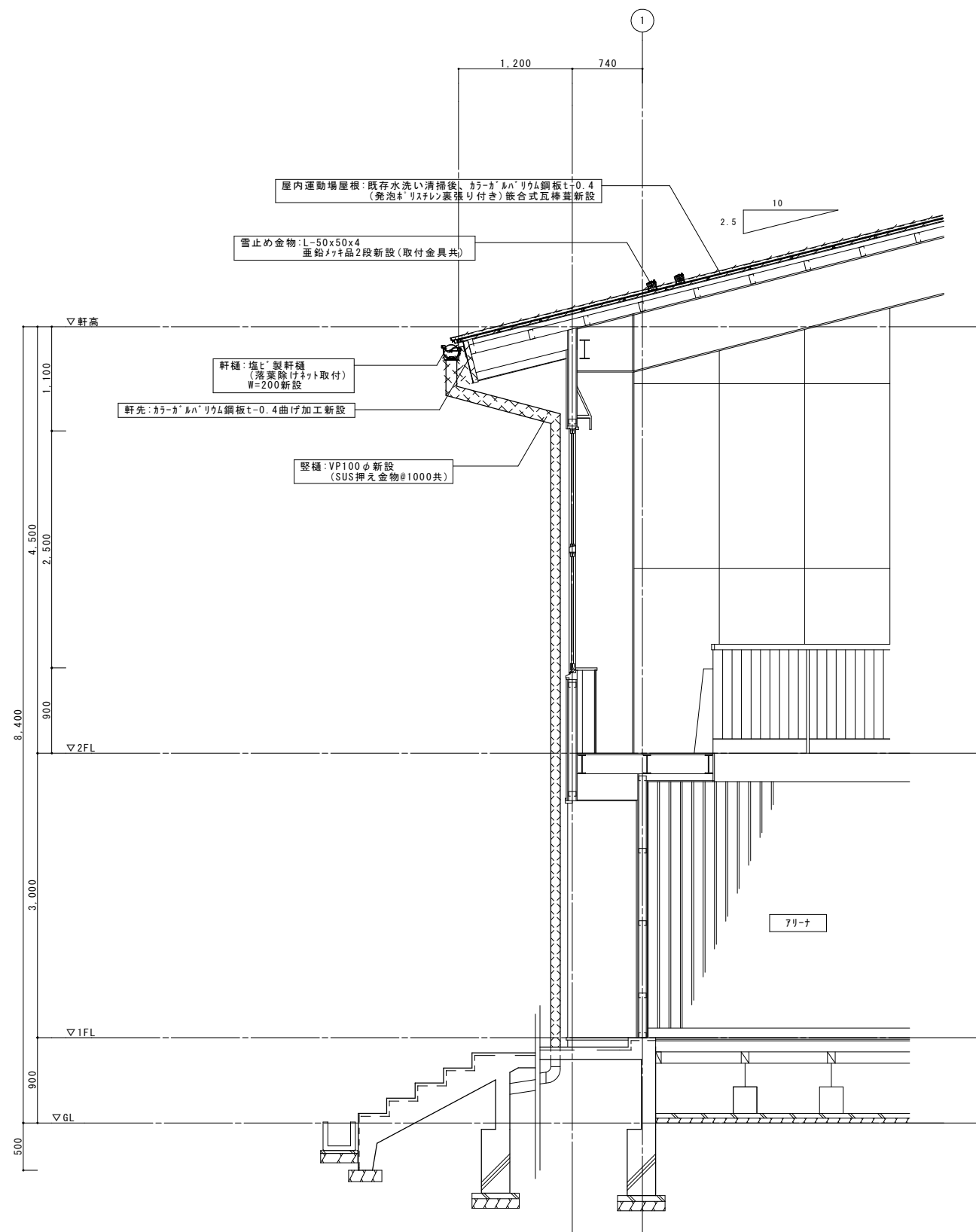
【既存・改修】渡り廊下立面図 S=1/100

凡 例			
記 号	既 存 内 容	改 修 内 容	記 号
a	屋内運動場屋根：長尺ｶﾞﾗ-鉄板 瓦棒葺 t=0.4	屋根端部W150撤去の上、既存水洗い清掃後、ｶﾞﾗ-ｶﾞ'ﾙﾊ'ﾘｸﾞﾙﾑ鋼板t=0.4(発泡ｽﾁﾛﾚﾝ裏張り付)嵌合式瓦棒葺新設	f
b	下屋屋根：長尺ｶﾞﾗ-鉄板 瓦棒葺 t=0.4	屋根端部W150撤去の上、既存水洗い清掃後、ｶﾞﾗ-ｶﾞ'ﾙﾊ'ﾘｸﾞﾙﾑ鋼板t=0.4(発泡ｽﾁﾛﾚﾝ裏張り付)嵌合式瓦棒葺新設	g
c	軒先、ｸﾗﾊﾞ' : ｶﾞﾗ-鉄板包みt=0.4	既存撤去の上、ｶﾞﾗ-ｶﾞ'ﾙﾊ'ﾘｸﾞﾙﾑ鋼板t=0.4曲げ加工新設	h
d	軒樋：塩ﾋﾞ'鋼板t=0.8加工 角樋W=180	既存撤去の上、塩ﾋﾞ'製軒樋(落葉除けｷｯﾄ取付)W=200新設	i
e	軒樋：塩ﾋﾞ'鋼板t=0.8加工 角樋W=120	既存撤去の上、塩ﾋﾞ'製軒樋W=150新設	j
		壁樋：VP100φ 押え金物#1,000	k
		既存(押え金物共)撤去の上、VP100φ(SUS押え金物#1,000共)新設	l
		壁樋：VP75φ 押え金物#1,000	m
		既存(押え金物共)撤去の上、VP75φ(SUS押え金物#1,000共)新設	n
		雪止め金物 L=50x50x5	
		既存撤去の上、雪止め金物L=50x50x4亜鉛ﾌﾟﾛｯｸ品(取付金具共)	
		下屋屋根：長尺ｶﾞﾗ-鉄板 瓦棒葺 t=0.4	
		既存水洗い清掃後、下地調整(RB種)の上、DP塗装	
		渡り廊下1・3屋根：ｶﾞﾗ-折板葺 t=0.8 山高H=150	
		既存水洗い清掃後、下地調整(RB種)の上、DP塗装	



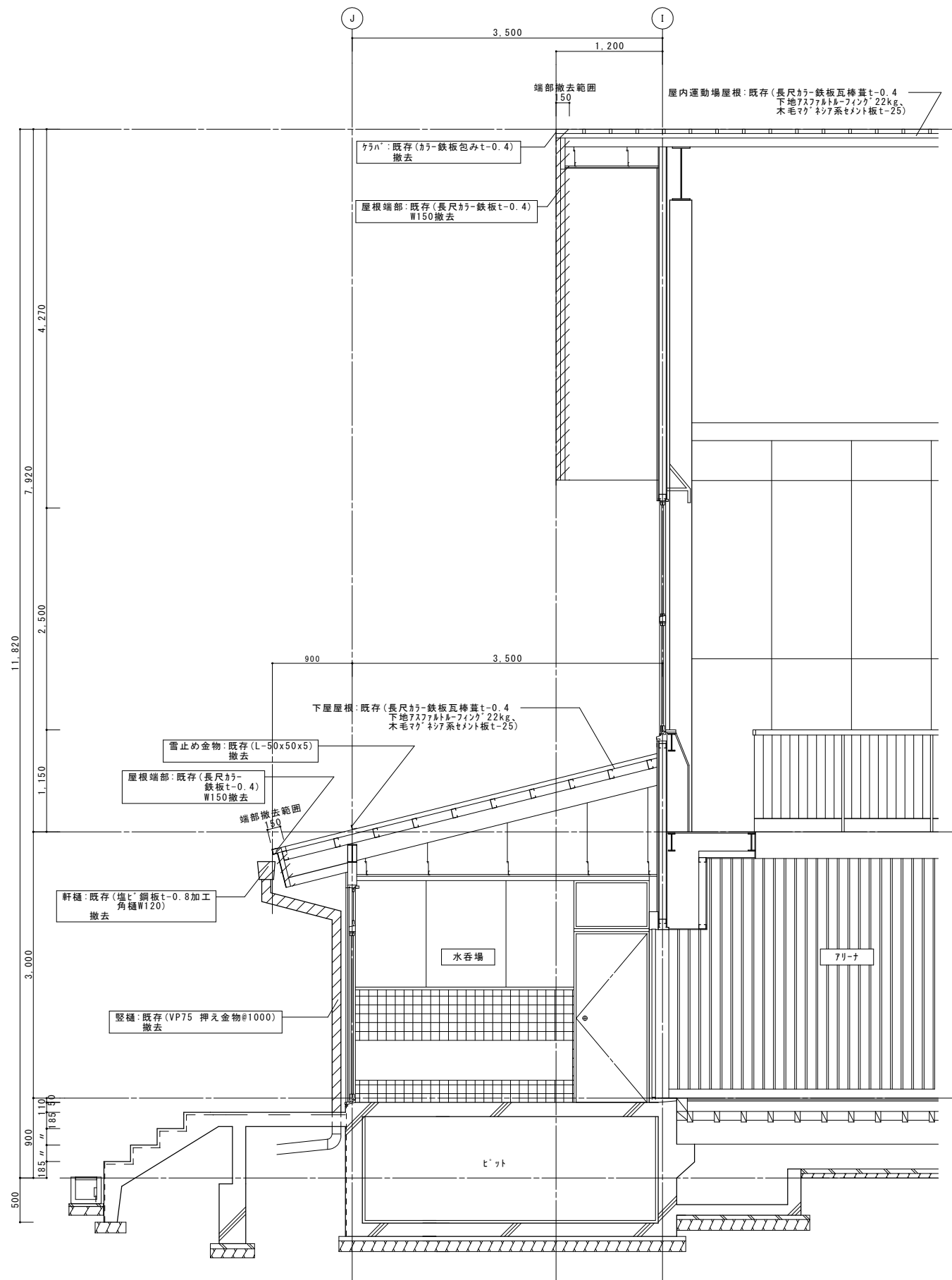
【既存】屋内運動場矩計図1 S=1/30

凡 例	
記 号	内 容
	撤去範囲を示す
	改修内容を示す



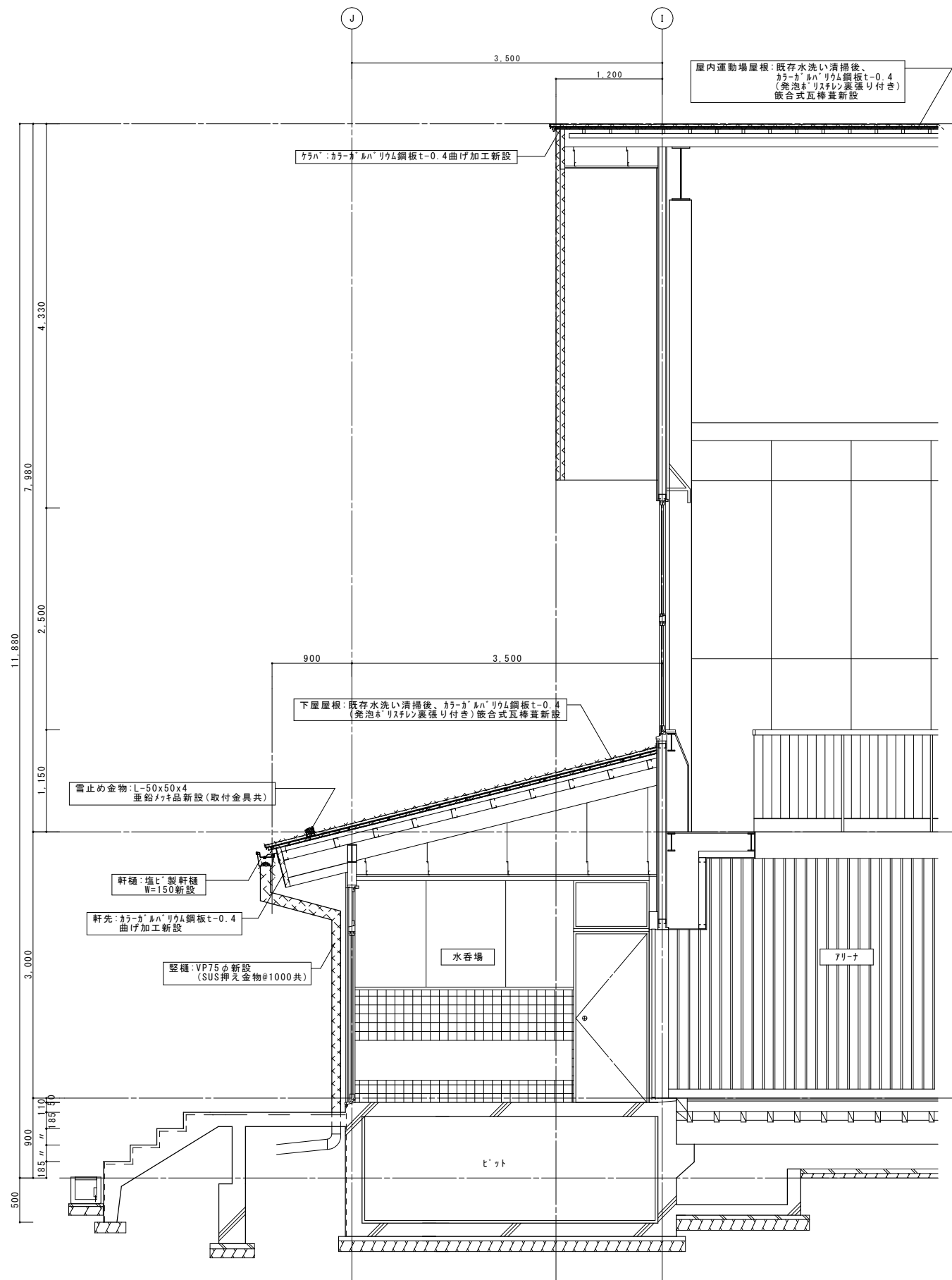
【改修】屋内運動場矩計図1 S=1/30

凡 例	
記 号	内 容
	改修範囲を示す
	改修内容を示す



【既存】屋内運動場矩計図2 S=1/30

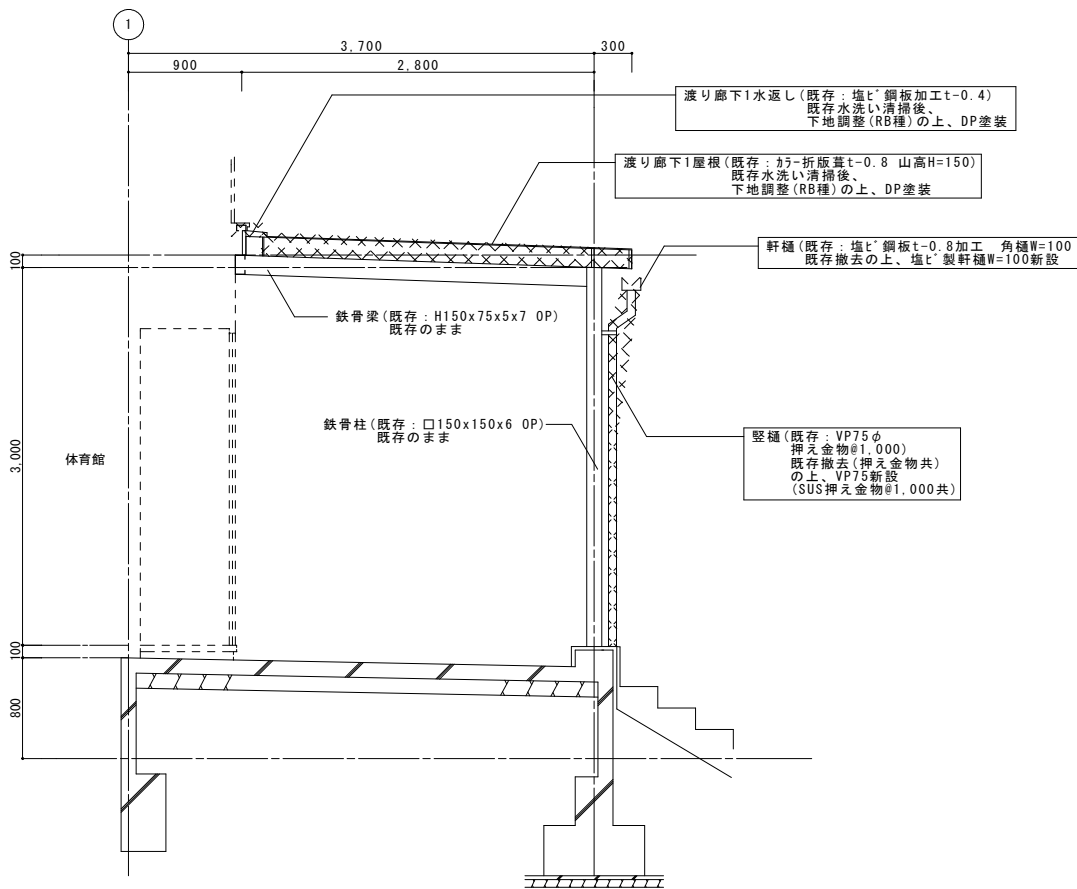
凡 例	
記 号	内 容
	撤去範囲を示す
	改修内容を示す



【改修】屋内運動場矩計図2 S=1/30

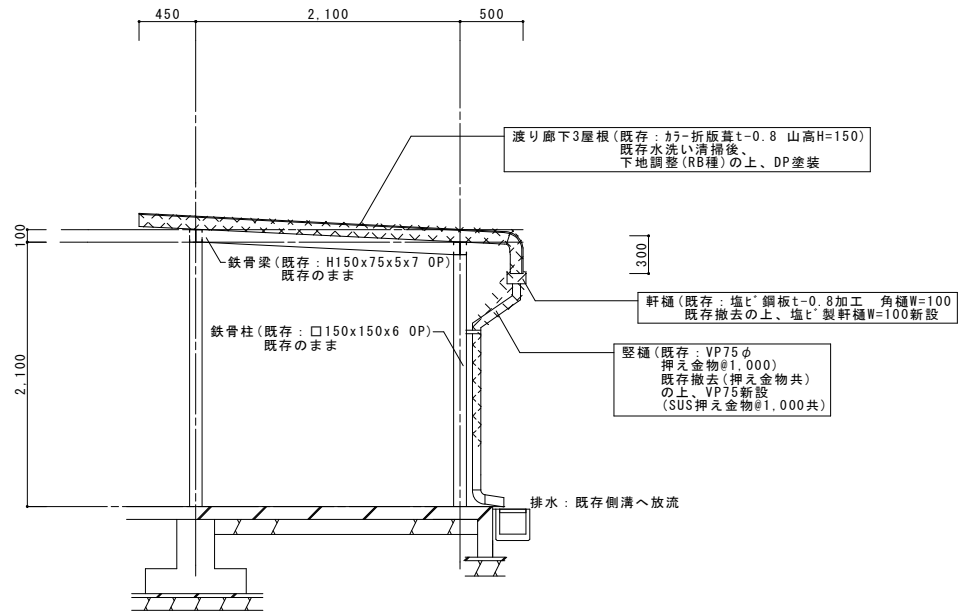
凡 例	
記 号	内 容
	改修範囲を示す
	改修内容を示す

凡 例	
記 号	内 容
	改修範囲を示す
	改修内容を示す



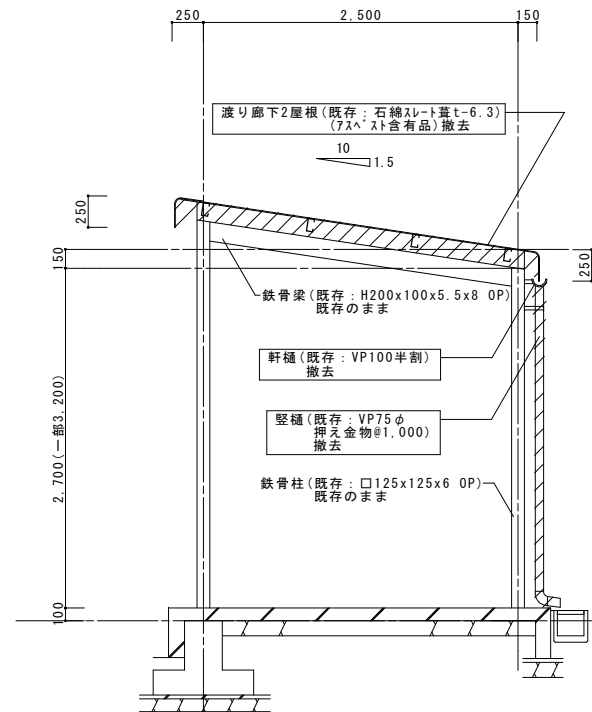
【既存・改修】渡り廊下1矩計図 S=1/30

凡 例	
記 号	内 容
	改修範囲を示す
	改修内容を示す



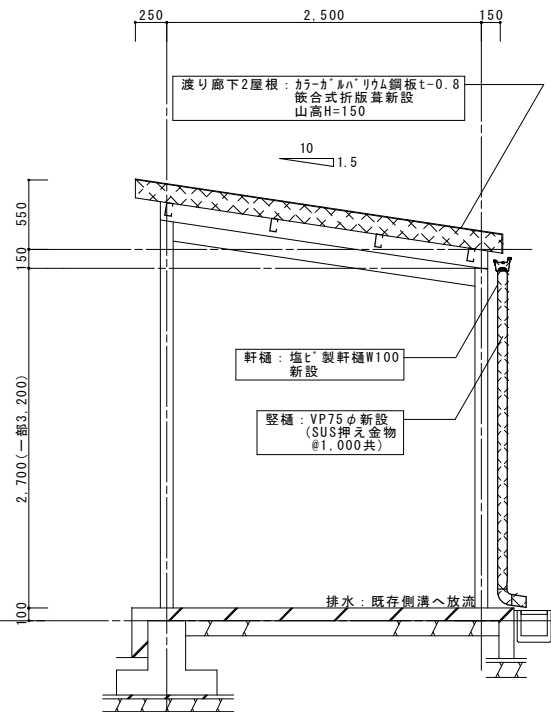
【既存・改修】渡り廊下3矩計図 S=1/30

凡 例	
記 号	内 容
	撤去範囲を示す
	改修内容を示す



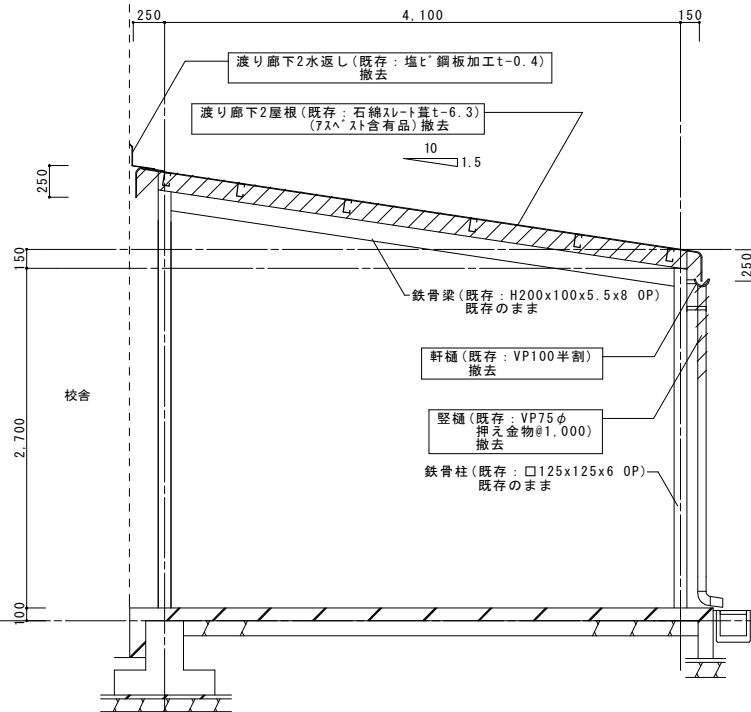
【既存】渡り廊下2(柱芯間2,500)矩計図 S=1/30

凡 例	
記 号	内 容
	改修範囲を示す
	改修内容を示す



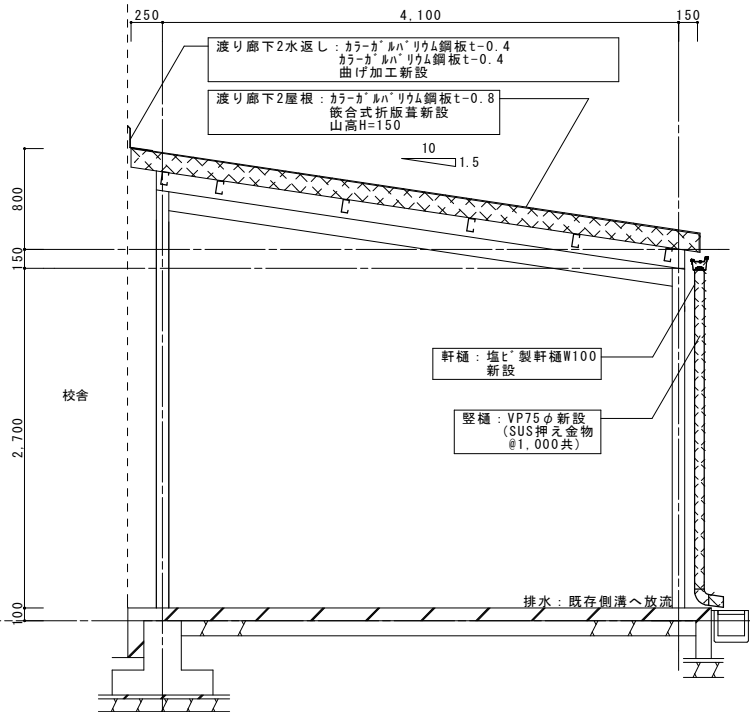
【改修】渡り廊下2(柱芯間2,500)矩計図 S=1/30

凡 例	
記 号	内 容
	撤去範囲を示す
	改修内容を示す

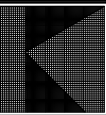


【既存】渡り廊下2(柱芯間4,100)矩計図 S=1/30

凡 例	
記 号	内 容
	改修範囲を示す
	改修内容を示す



【改修】渡り廊下2(柱芯間4,100)矩計図 S=1/30



特記事項

設計年月日

年 月 日

管理技術者

担 当 者

作 図

工 事 名

愛鳥小学校屋内運動場屋根改修工事

図 面 名

【既存・改修】渡り廊下矩計図

縮 尺

A1: 1/30

A3: 1/60

図面番号

A - 10

株式会社 桂 設 計

一級建築士登録 第324846号 長南 京子

